

ケアマネジメント点検シート（適切なケアマネジメント手法）疾患別ケア：大腿骨頸部骨折Ⅰ期）

※「基本ケア」と重複する支援内容には「基本ケア」の番号該当する支援内容の番号を記載した

			(1) ケアプラン作成時点の判断		(2) 現在(項目を見た後)の判断							
規定される支援内容			④ 現時点で支援の必要性 ○：支援が必要である ⇒ 【設問⑤へ】 ×：支援は不要である ⇒ 【回答終了】		⑥ 追加または縮小すべき支援内容 1：追加が必要と思われる具体的な支援内容 (自由記述) 2：縮小が必要と思われる具体的な支援内容 (自由記述)							
大項目	中項目	小項目	想定される支援内容	⑤ 支援内容の見直しの必要性 ○：支援が必要だと判断した ⇒ 【設問③へ】 ×：支援は不要だと判断した ⇒ 【設問④へ】 ▲：検討しなかった ⇒ 【設問④へ】 ③ ケアプランへの支援の位置づけ ○：ケアプランに支援を位置付けなかった ×：ケアプランに支援を位置付けながら ▲：検討しながら	⑥ 支援内容は当初の ままで良いと考えた ⇒ 【回答終了】 2：支援内容を見直す (追加あるいは縮小する) 必要があると考えた ⇒ 【設問⑥へ】							
1 再骨折の予防	1-1 転倒予防	1-1-1 転倒予防	1 転倒した状況や要因の継続的な把握 ・評価を確認する体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：4・12	①	②	③						
		2 自らの身体機能（反射、視覚覚等）の理解の支援と指導を受ける体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：1・4	④	⑤	⑥							
		3 転倒しにくくするための身体機能の向上ができる体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：12・26・27										
	1-2 骨粗しょう症の予防	1-2-1 服薬支援	4 服薬管理の支援 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：1・24	⑦	⑧	⑨						
		1-2-2 治療の継続の支援	5 継続的な受診の体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：1・24	⑩	⑪	⑫						
		6 運動・活動の体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：26・29	⑬	⑭	⑮	⑯						
	2 骨折前の生活機能の回復	2-1 歩行の獲得	2-1-1 歩行機能訓練 の排除	7 歩行機能向上のための訓練ができる体制を整える 2-1-2 心理的不安	8 心理的不安を小さくするリハビリーションの継続と生活環境を整備する体制を整える 2-2 生活機能の回復	9 ADL/TADLの定期的な把握と機能向上ができる体制を整える 2-2-1 ADL/TADLの回復	10 必要な栄養量の把握と食事の支援がなされる体制を整える 2-2-2 食事栄養の確保	11 日常生活（自宅内・自宅外）における役割の回復・獲得がなされる体制を整える 2-3 社会参加の回復	12 外出や交流の機会が確保できる体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」 結果を踏まえて特に留意して実施 ⇒ 基：37・39	13	14	15